

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392200206
事業所名	グループホーム真清田

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域に対し、夏休みのラジオ体操の会場として駐車場を開放したり、子供会の獅子舞の訪問があったり、事業所は地域の一員として受け入れられている。町内会の行事にも参加し、地域交流は積極的に行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は概ね2ヵ月毎に開催されており、事業所からの報告事項だけでなく、会議内で民生委員から独居老人が地域の集まりに参加できない状況があるという課題が挙げられ、事業所がサポートして参加を可能にしたという実績がある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の担当者には困ったときには気軽に相談できる関係である。管理者は地域ケア会議などに出席し、市や地域包括支援センターとは地域福祉の向上のために連携を取りあっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族等には意見や要望等を言ってもらえるように、毎月、家族等に利用者の近況や行事予定や実施状況を写真を使って報告している。意見箱を設置してあるが、家族からは直接、要望等を言ってもらえる関係が築けるようにしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○